



中央検査部だより



2022年1月吉日発行 第78号



新年のあいさつ

中央検査部 部長 上田 一之

新年あけましておめでとうございます。コロナ禍が始まってもう二年が経過しようとしています。皆様には逆境にもめげず仕事に家庭にと頑張っておられると思います。我が中央検査部でも PCR 検査や抗原検査と突然増加した仕事量に辟易としながらも日々黙々と仕事をこなしてきました。この先いつまで続くのか先の見えない状況ですが、出口のないトンネルはないと信じて仕事していこうと思います。

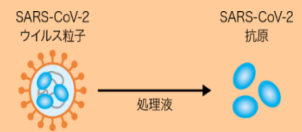
さて、当検査部では今年は今自動検査機器といったエポックメイキングな出来事の予定はありませんが、しっかりと精度管理を行って信頼のできるデータを先生方に供給していく所存です。来年度は新人検査技師5名の採用も決まっております、ますます充実した検査部であろうと努力して行くつもりです。疑問、質問、要望などなんでもお気軽にご相談ください。

新型コロナウイルス抗原定量 院内測定開始

2021年10月5日より新型コロナウイルス抗原定量の院内測定が開始され、約3ヶ月経過しました。

依頼方法など注意していただく点を含め、新型コロナウイルス抗原検査を紹介します。

当検査室で使用しているルミパルス G1200 (富士レビオ株式会社) は、SARS-CoV-2 ウイルス粒子内側の一本鎖 RNA ゲノムに絡みついている核タンパク (ヌクレオカプシド (N) タンパク質) をターゲットとしており、検体処理液により検体中のウイルス粒子を壊し、核タンパクを取り出して測定します。



検体種別は**鼻咽頭ぬぐい液**、**鼻腔ぬぐい液**で、喀痰、唾液は検査不可となります。**平日勤務のみ対応可能な検査**です。また、**新型コロナウイルス抗原定性**、**新型コロナウイルス PCR 検査**と依頼方法や検体ラベルの表記(下記図)が異なりますので、依頼時ご注意ください。

抗原定量



一次サンプル採取容器に『**コナ Ag 鼻腔**』と表記
部門名『**生化**』と表記

抗原定性



一次サンプル採取容器に『**コナ Ag 鼻腔**』と表記
部門名『**細菌**』と表記

PCR 検査



一次サンプル採取容器に『**P コナ鼻腔**』と表記
部門名『**細菌**』と表記

結果報告は、『測定値』と『判定』で報告します。測定値が **1.00 pg/mL ~ 9.99 pg/mL** の場合、『**判定保留**』と報告します。『判定保留』の場合は、新型コロナウイルス PCR 検査を依頼するなど、総合的に SARS-CoV-2 感染の診断をしていただきますようお願いいたします。また、新型コロナウイルス PCR 検査を依頼される場合、**検体は兼用できないため再採取**となります。

測定値	判定
<0.60 pg/mL ~ 0.99 pg/mL	陰性
1.00 pg/mL ~ 9.99 pg/mL	判定保留
10.00 pg/mL ~ >5000.00 pg/mL	陽性



お問い合わせ：生化学検査室 (内線 387)



新規導入機器紹介



血液検査

全自動血液凝固測定装置 CN-6000

2021年9月より血液凝固検査の測定機器が新しくなりました。新機器CN-6000（シスメックス株式会社）では、SFに代わり新たに「**フィズリンモノマー複合体（FMC）**」が測定可能となりました。

FMCは、トロンビンの作用を受けてフィブリノゲンがフィブリンに転換していく過程で形成される中間産物です。凝固が亢進すると、Dダイマーより早期に上昇し、半減期が短いため速やかに減少する**鋭敏な凝固亢進マーカー**です。血栓症やDICの診断・モニタリングに有用であり、近年ではDOAC投与時のモニタリングや休薬管理での活用についても報告されています。



お問い合わせ：血液検査室（内線 507）

全自動尿中有形成分分析装置 UF-5000

UF-5000（シスメックス株式会社）は尿沈渣検査に使用する機械で、フローサイトメトリー法によって**尿中の有形成分**を分析します。尿中の赤血球、白血球、細菌、硝子円柱などの測定が可能で、再現性、定量性に優れています。機械測定値で報告可能な検体はそのまま結果報告し、尿路感染症を疑う検体や、病的円柱、異型細胞、糸球体性赤血球などが出現する可能性のある検体は、機械測定値を参照しながら技師が顕微鏡で詳しく検査して報告しています。

UF-5000を活用して診療に役立つ尿沈渣結果を速やかに報告できるよう努めたいと思います。

一般検査



お問い合わせ：一般検査室（内線 389）



編集委員

水上 中尾 伊藤

中村 田尻翔 佐々木卓